

たいじょうほうしん

带状疱疹ワクチン



いちふひょうじょせい

一部費用助成のお知らせ

水痘带状疱疹ウイルスに初めて感染すると水痘（水ぼうそう）を発症し、治った後もウイルスが神経に潜伏します。

その後加齢や免疫低下によりウイルスが再活性化し、水ぶくれを伴う赤い発疹やピリピリとした痛みが、身体の片側に

帯状に現れる病気が带状疱疹です。80歳までに約3人に1人が発症するといわれています。

带状疱疹ワクチン接種は、带状疱疹やその合併症に対する効果的な予防対策の一つです。

令和7年度の費用助成対象者



助成の対象となるのは今年度のみです。

① 令和7年度中に65歳・70歳・75歳・80歳・85歳・90歳・95歳・100歳以上※になる市民の方

※100歳以上の方については、令和7年度に限り全員を対象とします。

＜対象者の年齢と生年月日＞

65歳	昭和35年4月2日～昭和36年4月1日	70歳	昭和30年4月2日～昭和31年4月1日
75歳	昭和25年4月2日～昭和26年4月1日	80歳	昭和20年4月2日～昭和21年4月1日
85歳	昭和15年4月2日～昭和16年4月1日	90歳	昭和10年4月2日～昭和11年4月1日
95歳	昭和5年4月2日～昭和6年4月1日	100歳以上	大正15年4月1日以前に生まれた方

② 60～64歳の方のうち、ヒト免疫不全ウイルス(HIV)により免疫の機能に日常生活がほとんど不可能な程度の

障がいを持つ市民の方（身体障がい者手帳1級相当）

ただし、①もしくは②に該当する方で自費での接種も含め、過去に生ワクチンを1回又は組換え(不活化)ワクチンを2回

接種した方は助成を受けられません（過去に組換えワクチンを1回受けた方は、残り1回分のみ助成の対象となります）。



実施期間は令和7年4月1日～令和8年3月31日まで！

予防接種の受け方

接種予約は委託医療機関へ電話などで申し込みます。委託医療機関一覧は、大阪市ホームページ

もしくはお住いの区の保健福祉センターでご確認ください。接種当日にマイナンバーカードなど氏名・生年

月日・住所が確認できるものを持参し委託医療機関で予診票および実施申込書を記入します。

大阪市 委託医療機関

検索



その他の情報は裏面へ

帯状疱疹ワクチン予防接種についての説明書

【令和7年度の接種対象者】  助成の対象となるのは今年度のみです。

① 令和7年度中に次の年齢となる市民の方

65歳	昭和35年4月2日生～昭和36年4月1日生	70歳	昭和30年4月2日生～昭和31年4月1日生
75歳	昭和25年4月2日生～昭和26年4月1日生	80歳	昭和20年4月2日生～昭和21年4月1日生
85歳	昭和15年4月2日生～昭和16年4月1日生	90歳	昭和10年4月2日生～昭和11年4月1日生
95歳	昭和5年4月2日生～昭和6年4月1日生	100歳以上	大正15年4月1日以前に生まれた方

※100歳以上の方については、令和7年度に限り全員を対象とします。

② 60歳～64歳の方のうち、ヒト免疫不全ウイルス(HIV)により免疫の機能に日常生活がほとんど不可能な程度の障がい有する方(身体障がい者手帳1級相当)

◆対象外となる方◆

①もしくは②に該当する方で自費での接種も含め、過去に生ワクチンを1回又は組換え(不活化)ワクチンを2回接種した方(過去に組換えワクチンを1回受けた方は、残りの1回分のみ助成の対象となります)

【実施期間】

令和7年4月1日より令和8年3月31日まで

【接種(助成)回数、接種費用及び接種方法】

現在、帯状疱疹の予防として使用されるワクチンは次の2種類あり、どちらかのワクチンを接種します。

	生ワクチン(※1) 乾燥弱毒生水痘ワクチン「ビケン」	組換えワクチン シングリックス
接種(助成)回数	1回	2回(※2)
接種費用(※3) (対象者の自己負担)	4,500円/回	11,000円/回
接種方法	0.5mL/回を皮下注射	0.5mL/回を筋肉内注射

(※1) 免疫不全と診断されている方および免疫抑制をきたす治療を受けている方は、生ワクチンの接種を受けることができません。

(※2) 組換えワクチンは、2か月以上あけて2回目を接種します(標準的には2か月の間隔をおいて2回目を接種するが、2か月を超えた場合であっても1回目の接種から6か月までに2回目を接種することが望ましい)。ただし、医師が医学的知見に基づき早期の接種が必要と認めるものについては、接種間隔を1か月まで短縮できます。2回目を実施期間内(令和8年3月31日まで)に接種しなければ、助成の対象となりません。

(※3) 生活保護受給者、市民税非課税世帯の方、災害のために居住地で定期予防接種を受けることが困難な方は、接種当日に確認書類を医療機関に持参いただくと無料になります。

1 帯状疱疹について

水痘帯状疱疹ウイルスに初めて感染すると水痘(水ぼうそう)を発症し、治った後もウイルスが神経に潜伏します。その後加齢や免疫低下によりウイルスが再活性化し、水ぶくれを伴う赤い発疹やピリピリとした痛みが、身体の片側に帯状に現れる病気です。80歳までに約3人に1人が発症するといわれています。

合併症の一つに皮膚の症状が治った後にも痛みが残る「帯状疱疹後神経痛(PHN)」があり、日常生活に支障をきたすこともあります。